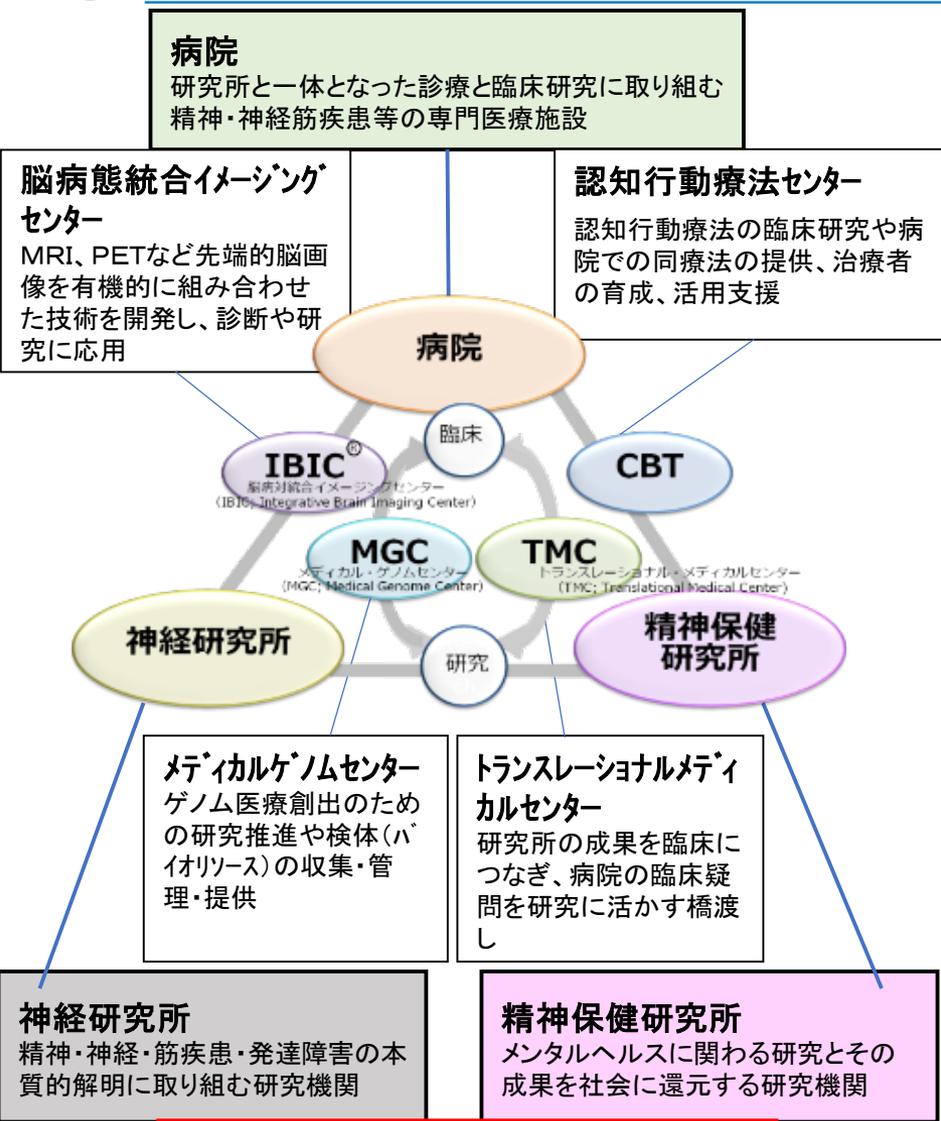


官民競争入札等監理委員会 改革小委員会 ヒアリング説明資料

件名 庁舎管理業務一式

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター



11の専門疾病センター(病院×研究所)



NCNPの沿革

昭和15年12月	傷痍軍人武蔵療養所として設立 (我が国初の国立精神療養所)
昭和20年12月	厚生省に移管、国立武蔵療養所として発足
昭和61年10月	国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合し、国立精神・神経センターを設置
平成17年 7月	我が国初の医療観察法病棟竣工。同年9月より患者受入れ開始
平成20年 4月	武蔵病院は国立精神・神経センター病院に名称変更
平成22年 4月	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター設立 センター2番目の医療観察法病棟が開棟
平成22年 9月	センター新病院竣工
平成27年 4月	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターに改称

(①多発性硬化症、②筋疾患、③てんかん、④パーキンソン病・運動障害、⑤心のリカバリー地域支援、⑥睡眠障害、⑦統合失調症早期診断治療、⑧気分障害、⑨認知症、⑩嚥下障害、⑪薬物依存症)

病院の概要

- 病床数 486床（一般295床、精神191床）
- 診療科 精神科、脳神経内科、小児科（小児神経）、脳神経外科、内科、心療内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科

設 立：平成22年4月1日

役職員数（令和4年4月1日現在）

- 常勤職員 796名
- 非常勤職員 624名

主な組織：神経研究所、精神保健研究所、トランスショナル・メディカルセンター(TMC)、メディカルゲノムセンター(MGC)、脳病態統合イメージングセンター(IBIC)、認知行動療法センター(CBT)、病院、訪問看護ステーション

運営病床数：486床

（※コロナ専用病床転用後：457床）

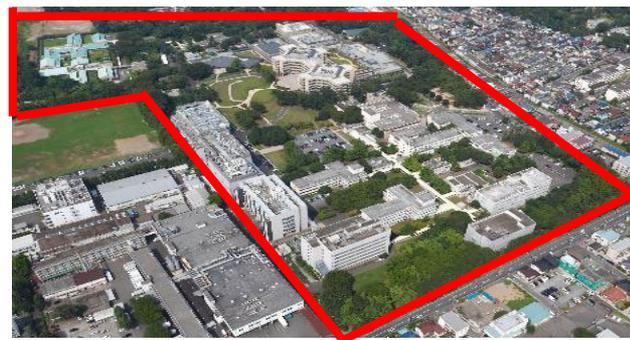
- ・1日平均入院患者数 402.8人
- ・1日平均外来患者数 575.3人
（令和4年4月～R5年1月）

土地総面積：198,001㎡

（病棟別内訳）

病棟名	区分	病床種別	入院基本料	病床数
2階南病棟	脳神経内科、筋ジストロフィー	一般	障害7:1	48
2階北病棟	脳神経内科	一般	障害7:1	50
3階南病棟	小児神経科、脳神経外科	一般	一般7:1	50
3階北病棟	脳神経内科、内科、外科	一般	一般7:1	46
4階南病棟	脳とこころの総合ケア病棟	一般	障害7:1	41
4階北病棟	精神(精神科救急) 閉鎖	精神	精神科救急	41
5階南病棟	精神 開放	精神	精神10:1	41
5階北病棟	精神 閉鎖	精神	精神10:1	41(12)
6病棟	重症心身障害児(者)	一般	障害7:1	60
小計				418(389)
8病棟	医療観察法	精神	-	34
9病棟	医療観察法	精神	-	34
小計				68
合計				486(457)

※ 5階北病棟は、令和3年2月よりコロナ専用病棟として、転用されている。【（）内転用後病床数】



国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

<センター内地図>



駐車場料金

料金区分		30分まで	30分以降
一般の方	昼間 (7:00~18:30)	無料	200円/1時間 (2時間迄は100円)
	夜間 (18:30~7:00)	無料	300円/1時間
受診患者の方 *但し、30分以降となった場合は ③会計受付窓口に表示して下さい		無料	100円/当日の退場まで

(地図上マークの説明)

- 屋根付き通路
- 外来者駐車場
- 専用駐車場
- 職員駐車場
- 駐車料金精算機
- 駐輪場
- タクシー乗場
- シャトルバス停留所
- AED設置場所
- ポスト
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- ATM
- タリーズコーヒー

(注意) 駐車料金精算機がありませんので
事前精算されていない方は出られません

- 病院にお越しの方
- セミナールーム・ユニバーサルホールにお越しの方
- コスモホールにお越しの方

庁舎管理業務一式

国立精神・神経医療研究センターの防災管理業務、設備管理業務、駐車場管理業務、清掃業務、機器保守・保安業務を一括した業務

防災管理業務

- ・防災センター業務
 - ①中央監視盤(自動火災報知・非常警報装置等)の監視
 - ②異常発生時の対応
 - ③巡回業務(センター敷地内、外周及び建物内)
 - ④救急外来の時間外受付
 - ⑤総合案内
- ・緊急時には防災拠点

設備管理業務

- ・運転及び監視
 - ①中央監視盤
 - ②電気設備 ③空調設備
 - ④衛生設備(給水設備、ボイラー、医療ガス設備)
- ・維持管理業務
 - ①インターホン設備
 - ②ナースコール設備
 - ③消防設備(防災業務と連携)
 - ④監視カメラ 等

駐車場管理業務

- ・利用者の誘導、案内
- ・無秩序駐車、不正な駐車車両への注意喚起
- ・敷地内の交通・駐車環境の保全
- ・敷地内の除草、草刈り
- ・駐車場内の巡回及び清掃
- ・事前精算機の維持管理
- ・降雪時や大雨時の歩道確保

清掃業務

- ・日常清掃
- ・定期清掃(年1回～60回)
対象:中央館、研究所、診療棟、教育研修棟、手術室、研究棟等
- ・廃棄物回収
 - ①感染性廃棄物(医療廃棄物)
 - ②不燃物・可燃物
 - ③資源物(段ボール、新聞、雑誌)
 - ④有害物(乾電池、体温計、蛍光灯)

機器保守・保安業務

- ・定期保守点検
保守点検計画表に基づき定期的に実施
- ・緊急保守点検
故障等各機器に異常が発生時に対応
保守対象機器
 - ①空調用自動制御装置
 - ②冷温水発生装置
 - ③排水処理装置

契約金額増加の理由

契約金額が増加している主な要因は以下のとおりである。

新規業務の追加

・ 前回契約より空調設備や排水処理施設保守点検等の複数の業務を追加している。これまで別の事業者が受託していた業務であるが、災害を含む緊急時のリスク軽減等を踏まえ、緊急対応（24時間体制）が必要な業務としてこれらの業務を追加し、センターの設備管理を一元的に行うこととなった経緯がある。

※緊急対応（24時間体制）が必要な業務として追加した業務

- ・ 外調機ポンプ点検業務
- ・ 空調用自動制御装置保守点検業務
- ・ 冷温水発生装置保守点検業務（病院・研究所本館・研究所3号館）
- ・ 排水処理装置保守点検業務

人件費の高騰

・ 当該業務は約80名が従事している。最低賃金の上昇も含め年々人件費は高騰しているため、従事者数が多い当該業務についてはその影響が大きいと考えられる。また、昨今の人手不足の影響もあり、求人掲載に係る経費など人員確保に関連する費用の増加も理由として考えられる。

○前回契約から現行契約までの契約金額増加理由

①新規業務追加

- 総合受付案内業務
- 外調機ポンプ点検業務
- 空調用自動制御装置保守点検業務
- 冷温水発生装置保守点検業務（病院・研究所本館・研究所3号館）
- 排水処理装置保守点検業務

②人件費の増加

○前々回契約から前回契約までの契約金額増加理由

①新規業務追加

- 受変電設備年次点検業務（病院）
- 受変電設備年次点検業務（研究所）
- 非常用発電機年次点検（負荷試験）

②人件費の増加

競争性改善の方策

当該業務に関して競争性改善のため下記の取り組みを計画している。

①入札説明会の実施

➡入札説明会の開催や業務履行場所の現地調査を許可し、契約金額の積算を行うにあたっての情報開示をすることで新規参入を促進する。

②入札スケジュールの確保

➡人員の確保や業務の引継ぎ期間を十分に確保するため、契約開始3ヶ月前までに契約業者が決定するようなスケジュールを策定する。

③業務分割の検討

➡複数の業務が包括された契約であるため、人員確保が参入障壁の一つであると考えられる。一部業務（清掃業務）を分割することで参入障壁の緩和に繋げる。特に清掃業務に関しては多くの従事者が必要なため、これを分割することで参入障壁の緩和に繋げる。

④契約方式の見直し

➡総合評価落札方式により金額のみならず業務の質を評価した契約方式の適用を検討する。